

平成12年度の

環境マネジメントシステムの取り組み

問 資源リサイクル対策室 ☎49-3111(内線270)

平成12年4月から、市では環境に配慮した活動を継続的に行っていくために、大館市環境マネジメントシステムを運用しています。今回は12年度1年間の主な取り組み状況をお知らせします。

右の表のほか、市役所の省資源、省エネ、リサイクルを推進するために電力・水・事務用紙使用量などの削減にも取り組みました。その結果、昨年1年間に約170万円の経費節減や、約18トンの二酸化炭素(CO₂)の排出抑制などがなされています。

平成13年度は、保健センター、教育委員会体育課及び中央図書館に適用範囲を拡大します。また、グリーン購入の推進やエコタウンフェアの開催など新たな項目を設定し、引き続き環境負荷の低減に取り組めます。

環境に配慮したまちづくりを進めるために行った主な事業

項	目	12年度目標	達成度
環境が良く住みよい大館をつくるための環境基本計画の策定(2カ年事業)		基本目標設定	基本目標設定
二酸化炭素(CO ₂)が増えることで引き起こる地球温暖化に対する対策の推進		実行計画の策定	実行計画未策定
立派な木を育てることでCO ₂ の増加を抑制する	市有林除間伐事業	25 ha	45.9 ha
	民有林間伐補助事業	70 ha	71.9 ha
水質の悪化を防ぐ	農業集落排水事業	杉沢地区53戸供用開始	杉沢地区53戸供用開始
	合併処理浄化槽設置整備補助事業	104基	115基
	公共下水道整備事業	普及率21%	普及率21.6%
水洗化工事をする事で各家庭からの排水による水質の悪化を防ぐ下水道普及事業		水洗化戸数 年間250戸増	水洗化戸数 年間280戸増

「地球温暖化対策の推進」を除く全ての項目で目標を達成しました。

ハローワーク大館管内の四月の有効求人倍率は〇・四七倍と、依然厳しい雇用情勢にあります。ここ数カ月では、スーパー、製造業などで合理化が進み、百人を超える解雇も生じています。市にとって、こうした方々への生活支援と雇用の確保は最大の課題です。このため、商工課にあります離職者相談窓口を中心に、市独自の制度である緊急生活資金の貸し付けのほか、離職後の年金や健康保険の変更手続きなど、個別に相談を行いながら生活不安の解消を図っています。

しかしながら、朗報も続々と届いています。今年四月には、沼館地区に株式会社テーエムシーが三十八人の新規雇用で操業を開始し、将来は百五十人体制とする予定です。また、株式会社エコリサイクルは新規に八人を雇用して本格操業を開始しています。七月からは株式会社丸祐運送も市営二井田工業団地で操業を予定しています。さらには五月末、昭和五十六年に立地したニプロ株式会社グループ企業である菱山製薬株式会社が、県営大館第二工業団地への進出を決定し、来年四月の操業時百人、将来的には五百人体制とする大規模な雇用計画を発表しました。地域経済が低迷を続ける本市にとって、これらの明るい話題は市民の皆さんとともに喜び合いたいものと感じています。

市では新しい雇用の機会を増やすため、企業の誘致に重点的に取り組んでいます。二井田地区と花岡地区に二つの工業団地を整備して分譲を行っておりますが、現在では全体の約八割近い用地で分譲が完了しています。今後とも引き続き積極的な誘致活動を展開していきたいと考えています。



雇用の拡大につながる

企業誘致

市長リポート

No. 227

小 堀 元